

第4回守山市総合計画審議会 議事録

開催日時：令和7年5月13日(火)午後5時30分～午後7時40分

開催場所：守山市役所3階会議室

出席者：

(委員) 辻田素子、杉岡秀紀、中川郁男、山本なお栄、石上僚、岩崎優希、北村妙子、
高津真一、小森慎也、根木山恒平、村田和哉、桃谷香葉、山崎いずみ

(守山市等) 森中市長、福井副市長

総合政策部 長谷川部長、稲田次長、森口次長

総合政策部企画政策課 伴課長、田中参事、北條係長、大寄係長

株式会社地域未来研究所 田渕技術顧問、貞松主任研究員

傍聴 3名

1. 開会

2. 委員紹介

3. 副会長の選出

副会長に中川郁男委員を選出

4. 市長挨拶

5. 会長挨拶

6. 議題

(1) 長期ビジョンの全体概要と守山市の現況等について（意見交換）

会長	議題1 長期ビジョンの全体概要と守山市の現況等について、ご質問等がありましたらお願いします。
	質問・意見なし
会長	よろしいでしょうか。議題1については、終了させていただきます。

(2) 将来都市像等について（意見交換）

会長	議題2 守山市の将来都市像について、ご意見をお伺いしたいと思います。
山崎委員	前回欠席したのでお伺いしたいと思います。 将来像の副題にある「守るために攻める」という言葉について、 説明の中で、変化を恐れずに挑戦することが必要と書かれており、それで十分意味が伝わる中で、攻めるというと誰かに対してファイティングポーズをとるよう

	なイメージがありますが、あえて攻めるというキーワードを使ったことについて別の意図があれば教えていただきたいと思います。
事務局	攻めるというのは、攻撃的にやっていくという意味ではなく、説明にもあるように、守るばかりではなく、社会の変化に応じて変化を恐れずに前向きに様々なことに取り組んでいくということを表現しています。 そういった意味で、「攻める」というキーワードを使っているというところです。
市長	市民ワークショップの中で、「攻山、守山」という守山の地名にひっかけた意見が出てきて、良いところ大切なところを守っていくためには、単に守るだけではなく攻めの姿勢が大事だという議論がありました。 今回「攻山」という言葉は採用しませんでした。守りに対する攻めという意味で、挑戦ではなく、攻めるという言葉を残したというところです。
杉岡委員	スタイリッシュにまとめていただいた印象を持ちました。 「攻山、守山」は、かなり尖った文言ですが、気になるというのは決して悪いことではありません。 総合計画はどうしても総花的になりがちですが、気になるということは、市民もどういう意味なんだろうと立ち止まるきっかけになります。 説明文に「変化を恐れずに攻める姿勢で挑戦することが必要です」とあり、これを読むと理解いただけと思うし、読まないと逆にひっかかると思うので、そういったことも含めて、少し気になる文言をサブタイトルにいれるのは、関心を持ってもらう意味でも大事なのではないかと思います。 「攻山、守山」は、少し尖りすぎていた印象もありましたが、「守るために攻める」という文言は分かりやすく、現行案はよくまとまっているのではないかと思います。 「サステナブルなまち」に関しては、SDGs は 2030 年までの行動計画ですが、これに変わるものとして、国連でもいくつかの議論がされています。 その中で有力視されているのが SWGs (Sustainable Wellbeing Goals) で、今後はウェルビーイングに変わっていく可能性があります。 国際的な動向も踏まえ、ウェルビーイングについてもどこかに入れ、積極的に議論していくのもあっていいと思います。
事務局	国際的な動向も参考にし、ウェルビーイングという言葉はどこかに盛り込むかについて、今後事務局で整理していきたいと思います。
小森委員	うまくまとめていただきたいと思います。
市長	前回様々な意見をいただいた中で、将来像の文言は変わっていませんが、副題や説明は変えたというところです。 将来像については、もちろん内容が大切ですが、加えて、言いやすくフレーズとしてまとまっているということも意識しています。
副会長	「私たちの」というと、複数の人の思いをかなえるという意味になりますが、市民みんながそれぞれ個々の想いをかなえましょうということだと思うので、「私

	の」の方が意味合いがわかってよいと思います。
会長	前回の意見が反映される形でまとまっています。 以上で議題2については終了させていただきます。

(3) 土地利用の方針について

会長	議題3 土地利用の方針について、ご意見をお伺いしたいと思います。 長期ビジョンでは土地利用方針の大きな視点を記載するということですが、追加でこういった視点も必要というような意見などがありましたらお願いします。
根木山委員	3点について教えていただきたいです。 1点目は、笠原で大規模な工業団地の整備が始まっていますが、これは、地図の田園ゾーンにはないですが、これから地図が変わっていくということでしょうか。 2点目として、開発が進むようにマンションの高さ制限の緩和を検討しておられるようですが、土地利用の方針では、どの部分が該当するのか教えていただければと思います。 3点目として、田園ゾーンについては、既に地区計画が進んでおり、服部でも多くの住宅地ができ、非農家が住めるようになっていますが、今後も同様のことが地区計画で進んでいくという理解でよいでしょうか。
事務局	地区計画制度は、市が誘導して取り組むものではなく、地域住民が、景観や土地利用も含めて地域のまちづくりを考え、主体的に提案したものを市と一緒に考え設定してくものとなります。 既に多くの地域で取り組んでいただけていますが、今後についても、地域が実情に応じて取り組むものについては継続していくものと考えています。 また、新たな住民がどんどん増え、新旧住民の交流もまちづくりの視点のひとつだと考えています。
市長	長期ビジョンは市の最上位計画であるため、ビジョンでは、大きな方向性を示すこととしており、土地利用の個別の方向性については都市計画マスタープランの中で設定していくことになります。 ご指摘の点について説明すると、笠原は田園ゾーンに含まれ、調整区域である農地ですが、特例法を活用して工業地に用地転換している訳ですが、そういったことまでは、長期ビジョンでは記載していません。 地区計画については、既に様々な地域でこの制度を活用することで調整区域でも家が建つようになっており、服部についてもこの制度を活用しています。 集落内の人が減っていく中で、集落の維持・活性化を目指し、地区計画制度を活用しますが、実情は、集落のまわりにどんどん家が建ち、集落内では空き家が増加するという状況です。 空き家や空き地対策となり、集落内に人に入ってもらえるような政策を検討しないといけないので、その政策については、都市計画マスタープランの策定の議論の中で検討しているところです。

	駅前マンションについては、人口増加が鈍化している中で、マンション規制をなくすのか、規制は残したままで運用を変えるのか、こちらについても都市計画マスタープランで議論していくことになります。
会長	人口ビジョンで緩やかな人口増加を目指すということで、土地利用の方針にはどのように記載していくのでしょうか。
市長	緩やかな人口増加を維持するためのツールは都市計画マスタープランで検討し、最上位計画である長期ビジョンではその入り口となる大きな方向性を決めています。
高津委員	「私の『想い』がかなうまち ～守るために攻める サステナブルなまちを目指して～」という将来像が、土地利用の方針にどう反映されているのか、あまり見えてこない感じがします。
市長	土地利用の方針には特にリンクしていないので、分かりにくいのはおっしゃるとおりです。ただ、この次の議題である分野別施策については、「挑戦」をはじめとした将来像にかかるキーワードを、盛り込んでいます。
長谷川部長	市民憲章に掲げる「のどかな田園都市」、50 年先の目指すまちの姿として「豊かな田園都市」があります。 みなさんが考えられている「豊かな田園都市」とはどんなものか、ご意見をいただければと思います。 ご意見を伺うことで、分野別施策にエッセンスを落とし込みやすいと考えています。
会長	豊かといっても、緑の豊かさや、生活が豊かなど、さまざまな豊かさがある中で、みなさんがそれぞれどういうものをイメージされているか、ご意見をお願いします。
山本委員	田園地帯に居住していますので、農業が栄えている意味で捉えてきましたが、現状、小さな農家が農業をしにくい状況は豊かではないと思います。 また、まちづくりの目標の中の土台となる「守山らしさ」の中に、「活発な自治会活動が継続されている（地域力）」と書かれていますが、こういうところにもう一度視点を置いて、豊かな田園都市というものを考えていただけるといいと思います。 加えて、まちづくりの目標について、「守山らしさ」は、他にもあるのではないかと思います。
小森委員	ほどよく田舎で、ほどよく都会を言い換えたものが「豊かな田園都市」という認識です。
山崎委員	現在が豊かなのであれば、50 年先も豊かなままでいいのかというのがあります。ここの豊かさは物質的な豊かさ、精神的な豊かさの両方のことでしょうか。
市長	豊かさというのは、単に物質的なものだけではなく、心身も含めた市民一人ひとりの豊かさのことです。 先ほど、ウェルビーイングのお話がありましたが、SDGs のように開発に限定する

	ものではなく、心身の豊かさも含めた豊かさを目指していこうということです。SDGs は 2030 年で終わりますが、長期ビジョンは 2035 年までの計画であり、そうになると、アフターSDGs は何かということですが、先ほど杉岡委員からもお話がありました。SWGs という言葉が出てきました。 ウェルビーイングという言葉を使うかどうかは別として、そういう心身の豊かさ的なものと「豊かな田園都市」の趣旨は同じかだと思いますので、そのあたりをもう少し出せるようにしてもいいと考えています。
会長	「豊かな田園都市」の豊かさについて、帯広市や塩尻市など、他都市では形容詞等をつけて、どういう豊かさかが分かるようになっています。 「豊かな田園都市」という言葉は既に決まっているものなので、変更できないと思いますが、分かりやすい説明の追加があればいいと思います。
岩崎委員	豊かは、人により色々な意味にとれるように敢えてしているのではないかと思います。 大阪から移住してきて感じたのは、守山市は一軒ずつの土地が広く、ゆったりとしていて、豊かだなと感じます。 それは土地があるからかもしれませんが、道幅も広く、のどかさも実現されていますし、景色も良く、日本にこんなところがあるんだという感じで、よいまちだという印象です。 豊かの捉え方は人それぞれでよく、どういう豊かさかを限定しないといけないものではないと思います。
村田委員	駅周辺は都会ですが、田園が広がり、比叡山が見え、琵琶湖もあり、場所によって景色が変わるので、外から遊びに来た人から、よいまちだと言われます。 地元が好きな人が多いので、みんな心が豊かなんだと思います。 一人ひとりが認識が違い、一人ひとりが主人公で、このまちに来たら何か想いがある。心が豊かでないと周りの人も幸せにできないので、そういう意味では、一人ひとりに焦点が当たって、一人ひとりが感じていくものなので、そのままでもよいと思います。
桃谷委員	物質的には日本はどこでもある程度豊かなので、心の豊かさが今後ますます重要になってくると思います。 私は、緑が豊かなところで子育てしたいという思いがあり引っ越してきましたが、のんびりしていて、ある程度家も広く、豊かだという印象があります。 しかし、ここ数年で宅地が増え、田んぼがどんどんなくなり、身近な自然がなくなると心配しており、さみしさを感じています。 市街化区域内農地のところで、「市街地にある農地の保全を進める」と書かれているので、そういうところは今後も守ってほしいと思います。 畑を借りてママ友でシェアしていますが、リフレッシュになるし、子どもは土と水があればいくらでも遊べるので、心豊かな大人になっていくにあたり、日常的に自然に触れることができる環境をぜひ残してほしいと思います。

杉岡委員	皆さんの意見を聞くとそれが守山の魅力なんだと改めて感じました。 「豊かな田園都市」と表現することで、老若男女問わず伝わるし、想像させるという仕掛けになっているのかと思います。 将来像と土地利用の関連性が乏しいという意見がありましたが、神戸市では、駅前が廃墟になることを避けるためにタワマン規制を5年前から実施しています。 土地利用に関しては、攻めるために守る（規制強化）という視点もあると思います。
市長	守山市は神戸市や京都市とは状況が違いますし、既に容積率等の規制があり、それ以上に守るために規制を強化すると過度な規制になると思いますので、土地利用について、「守る」という言葉を使うのは、違和感を感じます。 土地利用は、専門的な制度になりますので、専門家等に相談しながら進めてまいります。
杉岡委員	専門家等の意見も聞きながら表現等も含めて検討いただくということでお願いしたいと思います。
会長	活発なご意見ありがとうございました。 議題3については、いくつか事務局で確認していただくことがありますが、以上といたします。

(4) 分野別政策について（意見交換）

会長	議題4 分野別政策について、ご意見をお伺いしたいと思います。
山本委員	「支え合い、協力し合うまちづくり」について、8050 から 9060 に移行しつつある中、引きこもり支援のアウトリーチを入れていただいているのはありがたいと思います。 杉岡委員からウェルビーイングについてお話がありましたが、ウェルフェアのように、その人がどういうふう to 幸せかという言葉をこういうところにも入れていただければと思います。
北村委員	「未来を担う人材の育成」について、最後の2行目に学校施設の大規模改修や小中学校の屋外プールの集約化と書かれており、ここだけ具体的な内容が記載されており、違和感があります。
市長	今後、教育分野において、費用をかけて実施していく大きな事業ですので、今後10年間のまちづくりを示すビジョンでは、どこかに記載しておく必要があるということで、記載をしています。
村田委員	同様に「未来を担う人材の育成」についてですが、ここに「主体的」という言葉を入れた方がいいかと思います。 今の子どもたちには、こんなことをやってみたいと自ら主体的にやるということがとても大切で、そういう場所をつくることも含めてそれをまちがかなえるということにつながっていくと思います。
副会長	「支え合い、協力し合うまちづくり」について、高齢化が進むと、お互いが支え

	あうことも大切ですが、やはり地域等で見守っていくことが大事なので、そういった視点もいれていただければと思います。
山崎委員	「未来を担う人材の育成」について、子どもの可能性を伸ばすというのは大前提としてありますが、子どものやりたいことを応援すると同時に、私たちは子どもを守りますよという子どもたちへのメッセージとなるようなものを入れてはどうかと思います。 みんな頑張っているとしんどくなってしまうので、一度休めるというか、子どもたちが安心できるようなものが含まれるといいと思います。
事務局	学校でも不登校対策に力を入れていますので、子どもを守る居場所をつくるなど、子どもたちを守っていくという視点をどこかに入れるように検討いたします。
市長	「安心して子どもを生み育てやすい環境づくり」にある「子どもの居場所づくり」にも近いかと思います。
山崎委員	「安心して子どもを生み育てやすい環境づくり」は、どちらかという子育て世代の親や家族に関係する施策かと思うので、未来を担う人材の育成についての中に、地域で子どもを守るよというメッセージがあってもいいのかと思いました。 頑張る子どもだけを応援するような記載にならないように、不登校など学校になじめない話もよく聞くので、そうなっても大丈夫という一言が含まれるといいのではと思います。
北村委員	仲間とのつながりができず、なかなか自信を持てない子どもがたくさんいる中で、ひきこもりをなくすことにつながります。
山本委員	つながりの「多文化共生のまちづくり」のところですが、外国人の方が、地域の中でうまく住むことができ、ほっとできるような居場所をつくり、地域との触れ合いがあるというような点を少し強調していただくとありがたいと思います。 せっかく労働、居住、医療、福祉、教育について記載があるので、環境整備という言葉ではなく、孤立しないように、つながりといった言葉があると、既存の住民も来られる人も安心できるのではないかと思います。
岩崎委員	「農水産業の振興」について、私自身が新規農業者で、新規就農者の立場としては、市の施策も手厚く、フォローもしてもらっているので、農業に力を入れているまちだと感じます。 しかし、一方で、後継者がいなくてやめた農地もあり、耕作放棄地も多くなっています。
副会長	「災害に強く、安全で住みよいまちづくり」のところですが、ここに書かれている、自主防災組織というのは、各自治会の自衛消防組織のことでしょうか。 吉身学区でも取組んでいますが、大規模災害が発生すると、自治会単独では対応できなくなるので、もう少し幅を広げて自治会間の連携についても記載してはどうでしょうか。
市長	自治会の中の自主防災組織を指しており、自治会間の連携の記載について検討します。

桃谷委員	第1回審議会でも出産できる施設がなくなり心配しているという話をしました。 「安心して子どもを生み育てやすい環境づくり」のところです、「妊娠前からの切れ目のない支援の充実に取組み、安心して子どもを生み育てやすい環境づくりに努めます」とありますが、もちろんここに生むことも含まれていると思いますが、出産前と出産後については書かれているものの、生むところが飛ばされているのでは、と引っかかっています。医療体制の充実に含まれるのかもしれませんが、ここにもそういった安心できる要素があればいいと思います。
市長	産科の誘致は以前から取り組んでいるところです。子育てしやすい環境の中が含まれているところですが、敢えて特出しした方がいいというご意見だと思います。
会長	事務局でご検討をお願いします。
杉岡委員	教育のところで、「未来を担う人材の育成」と書かれていますが、教育現場では、人材の育成という言葉を使わないようにされていますので、市の教育行政大綱に合わせて、「人づくり」という言葉の方がフィットするのではと思いますので、検討いただければと思います。
会長	それでは、議題4につきましては以上とさせていただきます。

(5) 総合戦略について（意見交換）

会長	議題5 総合戦略について、ご意見・ご質問をお伺いしたいと思います。
小森委員	市民の文化・芸術に触れる機会の提供について、記載されているイベント名が変更されているので、確認をお願いします。
会長	各施策の具体的な内容は、次回で議論するということでしょうか。
会長	では、議題5については以上とさせていただきます。 それでは本日の議事は全て終了となります。 議事の円滑な進行にご協力いただき誠にありがとうございました。

7. その他

- ・次回は8月5日に開催。

8. 閉会